

畜産みやぎ

題 字

宮城県知事 村井嘉浩

発 行 所

仙台市宮城野区安養寺三丁目11番24号

一般社団法人 宮城県畜産協会

電話 022-298-8473

編 集 発 行 人

高橋 正

印 刷 所

(株)東北プリント



令和元年度 宮城県総合畜産共進会 (美里町 みやぎ総合家畜市場)

も く じ

C O N T E N T S

令和元年度宮城県総合畜産共進会盛會裡に終了… 2、3	〈衛生だより〉…………… 8
仙台市中央卸売市場食肉市場業務開始44周年記念 枝肉共進会の受賞結果について…………… 4	令和元年度価格安定対策関連発動状況について…………… 8
10月9日は「仙台牛の日」！…………… 5	〈畜試だより〉…………… 9
農林水産祭参加第59回 仙台牛枝肉共進会の開催について…………… 5	令和2年度宮城県農業大学校入校生を募集 (一般入校試験前期)…………… 10
日常の点検から始まる鳥インフルエンザ対策…………… 6	〈農業大学校性の抱負〉…………… 10
予防接種の生産者負担金が変わりました！…………… 6	〈New face〉…………… 11、12
子育て応援団すこやか2019の開催について…………… 7	
「みやぎまるごとフェスティバル2019」への 出展について…………… 7	



みやぎの
畜産情報
発信基地

宮城県畜産協会ホームページ

U R L <http://miyagi.lin.gr.jp>

畜産みやぎは上記ホームページからもご覧いただけます。



R70

令和元年度宮城県総合畜産共進会盛会裡に終了

一般社団法人 宮城県畜産協会

農林水産祭参加 令和元年度宮城県総合畜産共進会（肉豚の部・肉用牛の部・乳用牛の部）を、以下のとおり開催し、お蔭様をもちまして盛会裡に終了いたしました。

【開催期日】

- ・肉豚の部 9月4日～6日 宮城県食肉流通公社（登米市）
- ・肉用牛の部 9月13日～14日 みやぎ総合家畜市場（美里町）
- ・乳用牛の部 9月25日 みやぎ総合家畜市場（美里町）

【各部の出品頭数】

- ・肉豚の部 第1区32セット64頭、第2区19セット38頭 合計51セット102頭
- ・肉用牛の部 単品48頭、群出品9組26頭 合計74頭
- ・乳用牛の部 未經産牛19頭、経産牛18頭 合計37頭

なお、各部の上位受賞者及び審査報告（抜粋）は下記のとおりです。

【肉豚の部】

枝肉重量の平均は74.8kg、格付け「上」の重量範囲内の頭数は91頭でした。

枝肉は、全体的に枝肉重量にばらつきがみられ、体系良好でありながら重量が小さめのものが散見されたのが残念でした。

肉質においては、肉の色、光沢良好であり、きめ細やかで脂肪質の良いものが多く、肉質評価の高いものが多く見られました。

今後とも、四季折々に適応した飼養管理に十分留意され、消費者が求める品質の優良な安全でおいしい豚肉の生産にご研鑽をお願いします。

- 【名誉賞】 第1区（ミヤギノクロス三元交雑種）
農林水産大臣賞
宮城県知事賞 登米市 有限会社ビッグ夢ファーム

- 【名誉賞】 第2区（第1区以外の肉豚）
農林水産省生産局長賞
宮城県議会議長賞 栗原市 千葉 房義 氏

- ・東北農政局長賞 第1区（ミヤギノクロス三元交雑種）
栗原市 千葉 房義 氏
- ・団体賞 登米地区



登米市
有限会社ビッグ夢ファーム



栗原市
千葉 房義 氏

NAR 地方競馬全国協会

岩手競馬（盛岡・水沢開催）11・12月 開催予定表

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
11月	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
		盛岡							盛岡							盛岡							水沢								水沢
12月	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
	水沢							水沢							水沢							水沢									水沢

※開催期間中の重賞レース

- ・11/3(祝日) 第7回イーハトーブマイル ・11/10(日) 第46回南部駒賞 ・11/17(日) 第9回絆カップ ・11/25(月) 第36回プリンセスカップ
- ・12/2(月) 第42回北上川大賞典 ・12/9(月) 第18回寒菊賞 ・12/16(月) 第28回白嶺賞 ・12/31(火) 第44回桐花賞

【肉用牛の部】

今年は、3年後に開催される第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会へ向けての候補牛を発掘する共進会でもあり、各生産者の意気込みが感じられる出品でした。

全体として発育が良好で、体積、伸び、深みのある種牛でありました。しかし問題点として、栄養度の高い牛や後肢の弱い牛が散見されました。

今回、各区において、「茂洋」の息牛である「勝洋」及び「茂洋美」の産子が多数出品されましたが、1区において、同じく「茂洋」の息牛である「洋糸波」の産子が出品されました。次代を担う種雄牛産子の出品で、宮城県の肉用牛振興において「茂金」系統の活躍が期待されるところです。

【名誉賞】 第1区（若雌の1）
農林水産大臣賞
宮城県知事賞 大崎市 後上 藤三 氏



大崎市
後上 藤三 氏

【名誉賞】 第5区（父系群）
農林水産省生産局長賞
宮城県議会議長賞 みどりの和牛育種組合

- ・東北農政局長賞 第3区（経産）
登米市 石川 信喜 氏
- ・団体賞 登米地区



みどりの和牛育種組合

【乳用牛の部】

未経産は総体的に発育が良く、品位に富み、輪郭鮮明でバランスの良い牛が多く、特に、体躯・乳用性に優れた牛が多く、今後経産牛として成長した際の乳牛らしさに富む改良効果が期待されます。

経産牛は、バランスが良く、肋腹が充実しており、背線美しく輪郭鮮明で品位のある牛が多く、特に乳房の付着の強さなど乳房における改良の成果が見られました。

来年、宮城県において開催される「第15回全国ホルスタイン共進会」に向け、引き続き計画的な交配と飼養管理の徹底をお願いします。

【名誉賞】 第8区（3歳以上4歳未満）
農林水産大臣賞
宮城県知事賞 角田市 有限会社渡辺ファーム



角田市 有限会社渡辺ファーム

【名誉賞】 第3区（12ヶ月以上16ヶ月未満）
農林水産省生産局長賞
宮城県議会議長賞 大崎市 八巻 誠 氏



大崎市 八巻 誠 氏

- ・東北農政局長賞 第9区 丸森町 有限会社半澤牧場
- ・団体賞 大河原地区

(経営支援課 庄司 清文)

仙台市中央卸売市場食肉市場業務開始44周年記念枝肉共進会の受賞結果について 仙台中央食肉卸売市場株式会社

仙台市中央卸売市場食肉市場において、7月3日(水)に仙台市中央卸売市場食肉市場業務開始44周年記念事業協賛会主催の枝肉共進会が、肉牛250頭・肉豚400頭上場で開催され盛会裡に終了いたしました。関係者各位に改めて御礼申し上げます。

厳正な審査により入賞された方々を紹介いたします。

なお、所属団体、出品者名、枝肉重量、せり単価の順で記載いたします。

【第1部 黒毛和種(去勢)の部】

褒賞	所属団体	出品者名	枝肉重量(kg)	せり単価(円)
名誉賞	宮城家畜商出荷組合	(株)川村ファーム 川村大樹	635.5	7,001
最優秀賞	宮城家畜商出荷組合	(株)川村ファーム 高橋美喜子	577.5	4,501
	(株)丸市	日下平一	676.5	3,010
	宮城家畜商出荷組合	(株)川村ファーム	643.0	3,295
	宮城家畜商出荷組合	(株)川村ファーム 高橋浩	599.5	3,804
	宮城家畜商出荷組合	(株)川村ファーム 川村和弘	693.0	3,277
	JAみやぎ仙南(白石)	日下平一	644.5	2,891
優秀賞	JA新みやぎ(大郷)	千葉正	518.0	2,797
	JA新みやぎ(鶴巣)	門間政好	562.0	2,893
	宮城家畜商出荷組合	佐藤あき子	526.5	2,888
	宮城家畜商出荷組合	(株)川村ファーム 川村大樹	614.0	3,202
	一般	高橋文子	663.5	3,105
	JAみやぎ登米(豊里)	千葉敏	578.5	2,991
	仙台肉牛出荷組合	渡辺俊治	624.0	2,804
	仙台肉牛出荷組合	(株)川口ファーム	621.5	3,102

【第2部 黒毛和種(雌)の部】

褒賞	所属団体	出品者名	枝肉重量(kg)	せり単価(円)
名誉賞	(株)丸市	(有)斉藤畜産	452.0	8,000
最優秀賞	JAみやぎ登米(南方)	日下正之	486.5	3,101
	JA新みやぎ(志波姫)	千葉やす子	497.5	3,024
優秀賞	JA古川	小高栄	529.5	2,901
	JA新みやぎ(志波姫)	後藤章	393.0	2,900
	JA新みやぎ(高清水)	佐藤昭	418.0	2,900
	JAみやぎ登米(豊里)	小野寺富夫	467.5	3,023

【第3部 交雑種(去勢・雌)の部】

褒賞	所属団体	出品者名	枝肉重量(kg)	せり単価(円)
名誉賞	宮城家畜商出荷組合	大山治	513.5	2,024
最優秀賞	宮城家畜商出荷組合	(株)日高見牧場	559.5	1,710
優秀賞	一般	伊東恭一	512.0	1,701

【第4部 肉豚の部】

褒賞	所属団体	出品者名	枝肉重量(kg)	せり単価(円)
名誉賞	JA新みやぎ(一迫)	千葉房義	77.0	2,008
最優秀賞	関村グループ	(有)日向養豚	77.0	3,066
	一般	(有)コマクサファーム	78.0	956
	太平洋ブリーディング(株)	(有)ハイランド牧場 山田預託農場	78.0	956
	一般	(有)なわや	74.0	858
優秀賞	一般	(有)コマクサファーム	76.5	858
	JA加美よつば(中新田)	渡邊耕並	76.5	854
	太平洋ブリーディング(株)	(有)ハイランド牧場 山田預託農場	78.0	854
	丸山(株)	(有)日向養豚	77.0	862
	丸山(株)	(農)蔵王ファーム本場	76.0	856


(営業二課 落合)

畜産映像情報

(公社)中央畜産会からのお知らせ


がんばる!畜産!3

畜産現場の“今”を30分の番組にしました!
映像を各種研修会、セミナーにご活用ください!
配信中的内容:IoT技術の活用/農場HACCP/搾乳ロボット/他



▼スマートフォンからはこちら
▼パソコンからはこちらで検索

がんばる畜産 🔍



(公社)中央畜産会 経営支援部(情報) TEL03-6206-0846

10月9日は「仙台牛の日」！

宮城県農政部畜産課

県畜産課では、今年度のみやぎの肉用牛イメージアップ事業で、「仙台牛の日」を盛り上げるため、仙台牛のフェア・キャンペーン企画を進めています。

仙台牛銘柄推進協議会と連携し、首都圏及び県内の仙台牛指定店（小売店）、提供店（飲食店）の協力を得て、フェアやキャンペーンを行い、仙台牛を購入または食べるきっかけを作り、その美味しさを知ってもらうことで、認知度向上や消費拡大を図ります。

県内では10月9日「仙台牛の日」の直前10月6日から10月31日まで、指定店15店舗程度で、仙台牛購入者へのプレゼントキャンペーンを実施します。また、10月9日から10月27日まで、仙台市内の提供店10店舗で、同じくプレゼントが当たるフェアを実施しますので、一般の消費者の皆様だけでなく、生産者、関係機関の皆様もぜひこの機会に仙台牛を盛り上げていただきたいと思います。

この他にも、県食産業振興課と連携し、名古屋市や首都圏の百貨店で開催される物産展において、仙台牛PRを計画しております。^{うしまさむね}

仙台牛PRキャラクターの牛政宗くんもお店にお邪魔する予定です。お会いできる日を楽しみにしています。



(生産振興班 佐藤 文恵)

農林水産祭参加第59回
仙台牛枝肉共進会の開催について

全農宮城県本部 畜産部

農林水産祭参加第59回仙台牛枝肉共進会を下記の内容にて開催することとなりましたので、多数ご参観くださるようご案内申し上げます。

1. 会期及び場所

- (1) 会期 令和元年11月4日（月）～6日（水）
- (2) 場所 仙台市宮城野区扇町六丁目3番6号
仙台市中央卸売市場食肉市場

2. 出品区分及び条件

- (1) 肥育の完成されたものとする。

部	品 種	区 分	条 件
第1部	黒毛和種	去 勢	枝肉重量 390kg～650kg
第2部	黒毛和種	雌	枝肉重量 320kg～550kg

※ただし、瑕疵のある枝肉は審査対象外とする。

- (2) 出品牛は出品者において12ヶ月以上飼養され最長飼養地が県内のものとする。
- (3) 出品牛は血統明確なもので、これを証明する書類（子牛登記書等）を有すること。

3. 出品頭数及び屠畜・販売日

部	品 種	区 分	頭 数	屠畜月日	販売月日
第1部	黒毛和種	去 勢	130	11月5日	11月6日
第2部	黒毛和種	雌	50	11月5日	11月6日
計			180		

(生産販売課：熱海 幾哉)

日常の点検から始まる鳥インフルエンザ対策

宮城県農政部畜産課

渡り鳥が飛来する季節となりました。国の「特定家畜伝染病防疫指針」においても、10月から翌年5月までを強化月間と位置づけており、当県においても鳥インフルエンザ強化モニタリング検査を実施しています。

国内における家きんでの高病原性鳥インフルエンザの発生は、平成30年1月の香川県での発生以降確認されていませんが、中国、台湾及びベトナム等のアジア地域をはじめ、海外では継続的に発生が確認されています。

過去の発生事例では、野鳥や野生動物又は消毒未実施の長靴等を介しての家きん舎内への鳥インフルエンザウイルスの持ち込みが発生要因の一つとして考えられています。このため、海外での発生状況及び渡り鳥の飛来状況を踏まえ、依然として本病の発生リスクは高い状態にあるものと言え、引き続き警戒が必要と考えられます。

1つの「事故」の背景には多くの「不安全行動」と「不安全状態」が存在すると災害防止分野では述べられています（ハーバート・ウイリアム・ハインリッヒ著「産業災害防止論」。いわゆる、ハインリッヒの法則）。このことから“長靴の未消毒”（不安全行動）や“防鳥ネットの破損”（不安全状態）等、日常作業の中で確認・実施すれば防ぐことができることを1つ1つ確実にを行うことが、“鳥インフルエンザの発生”（事故）リスクを低減させることにつながると考えられます。家きん飼養者の方々は、以下

の点に注意し、本病の発生を未然に防ぎましょう。

- 1 衛生管理区域や家きん舎内へのウイルスの持込防止
 - ・農場を衛生管理区域とそれ以外の区域に区分けし、必ず専用の衣服、長靴を着用しましょう。
 - ・車両消毒設備や踏込消毒槽、手指消毒薬を常設し、車両、長靴、手指等の消毒を実施しましょう。
 - ・野生動物や野鳥の侵入防止のため、防鳥ネット等を設置し、定期的に破損状況を確認し、補修しましょう。
 - ・家きん舎の給餌設備、給水設備、飼料の保管場所等に野生動物や野鳥の糞尿が混入しないようにしましょう。
- 2 日常の家きんの健康観察
 - ・毎日、家きんの健康観察を行いましょう。
 - ・特に、家きんを導入する際は、異常がないことを確認するまで、他の家きんと接触させないようにしましょう。
- 3 異状家きん発見時の早期通報
 - ・異状家きんを発見した場合は、すぐに獣医師または家畜保健衛生所にご相談下さい。
 - ・緊急時の連絡先を確認し、整理しておきましょう。
- 4 農場立入者等の記録及び保存
 - ・本病発生時のまん延防止のため、衛生管理区域に立ち入った人の氏名、住所、所属、車両等を記録し、1年間保存しましょう。

(衛生安全班 高野 泰司)

予防接種の生産者負担金が変わりました！

一般社団法人 宮城県畜産協会

令和元年10月1日施行の消費税改正に伴い、特定疾病自衛防疫推進事業に係る予防接種生産者負担金を下表のとおり改定しました。

ワクチン名		生産者負担金 単価		
		新 令和元年10月1日 実施分から	旧 令和元年9月30日 実施分まで	増 額
豚	豚丹毒（生）	185円	180円	5円
	豚丹毒（不）	335円	330円	5円
	豚日本脳炎（生）	630円	620円	10円
	豚日本脳炎（不）	630円	620円	10円
	豚パルボ（不）	1,050円	1,030円	20円
	豚死流产3種混合（生）	1,570円	1,540円	30円
	豚伝染性胃腸炎（生）	790円	770円	20円
牛	豚伝染性胃腸炎・ 流行性下痢混合（生） （TGE・PED）	1,070円	1,050円	20円
	牛アカバネ病（生）	2,140円	2,100円	40円
	牛五種混合（生）	2,340円	2,300円	40円
	キャトルウィン5-Hs 牛五種混合（生）・ 牛ヘモフィルス（不）混合	2,950円	2,900円	50円
	牛ヘモフィルス（不）	1,250円	1,230円	20円
	牛六種混合 （キャトルウィン-6）	2,510円	2,470円	40円

【家畜飼養者の皆様へ】

予防接種時には家畜の健康観察を行うとともに、畜主の立会い（保定）をお願い致します。

(家畜衛生課)

子育て応援団すこやか2019の開催について

宮城県牛乳普及協会



子供を楽しく育てることのできる社会環境づくりを目指し、地域・行政・子育てに関わる団体・企業・ボランティアなど、産官民による応援団を結成し「来場者が楽しい時間を過ごす中から、子育ての助けになるものをひとつでも持ち帰りていただく」機会の提供を目的として実施します。

会場は4つのゾーンに分かれており、子育て世代及び子育てを応援する方々に対して、有益な情報を提供する「子育てサポートゾーン」、食を通して子育てをバックアップする「食育ゾーン」、親子で楽しみながら学べる「知育ゾーン」、未来のパパ・ママになる方への体験・相談コーナーの「プレパパ・プレママコーナー」があります。野外会場には、乗り物が大集結します。

ステージイベントでは、19日(土)におしりたんていショー、20日(日)には、赤ちゃんハイハイレー

ス、それいけ!アンパンマンショーが行われます。

また、当協会のブースでは冷たくて美味しい牛乳の試飲、手作りバター教室、野外ブースでは、牛や小動物と触れ合うことのできる搾乳体験、動物ふれあいコーナー、ポニー乗馬体験があり、お子さんが楽しめる内容となっておりますので、是非ご来場下さい。

- 開催日：令和元年10月19日(土)～20日(日)
- 時 間：10:00～16:00
- 場 所：セキスイハイムスーパーアリーナ
(グランディ・21 体育館)
- 駐車場：有

(飯塚 大智)

「みやぎまるごとフェスティバル2019」への出展について

宮城県食肉消費対策協議会

今年で20回目を迎えた「みやぎまるごとフェスティバル」へ消費者の方に安全・安心な宮城県産食肉の知識と情報を普及啓発するため出展いたします。

当日は、「知っていますか?牛と豚の品種」、「知っていますか?食肉の日本史」の情報普及啓発、また、「仙台牛」「宮城野ポークみのり」「しもふりレッド」の紹介に関するパネル展示とパンフレットの配布を行い消費者へPRするとともに、アンケート回答者へ「仙台黒毛和牛」と「しもふりレッド」又は「宮城野ポークみのり」の試食(焼肉)を1日4回、

2日間で1,200名様に味わっていただきます。

みやぎまるごとフェスティバルは、総出展団体が106団体、宮城県産品の即売会や清酒鑑評会が行われ一日中楽しめるイベントです。

多くの方の来場をお待ちしております。

開催日：令和元年10月19日(土)～20日(日)
会 場：県庁前 駐車場

(事務局：一般社団法人宮城県畜産協会価格安定課)

〈衛生便り〉

アフリカ豚コレラの侵入防止対策の強化をお願いします

宮城県北部家畜保健衛生所

アフリカ豚コレラ（African swine fever）は、アフリカ豚コレラウイルスによる豚やいのししの伝染病であり、発熱や全身の出血性病変を特徴とする致死率の高い疾病で、現在国内で発生している豚コレラとは別の病気です。ダニによる媒介や、感染畜等との接触により感染成立する他、ウイルスが汚染した豚肉中で長期間感染力を維持するため強い伝染性を有することが特徴です。ワクチンや治療法はなく、発生した場合の畜産業界への影響が甚大であることから、患畜・疑似患畜の速やかな届出とと殺が義務付けられています。

元々、常在するアフリカ諸国で問題とされてきましたが、近年流行地域が拡大しています。昨年8月に中国において初めて発生が確認され、その後も同国における感染拡大と近隣国における発生が続いています。本年4月には、空港の手荷物検査において、中国から国内に持ち込まれた豚肉製品から感染力を持つ生きたウイルスが検出され、水際まで到達していることが明らかになりました。国内への違法な畜

産物の持込みは、昨年約94,000件と増加傾向にあり、今年度から違反事案への対応の厳格化等による検疫強化が始まりましたが、国内での発生リスクは依然高い状況です。

農場における発生予防対策として、人・物・車両によるウイルスの持込み防止（衛生管理区域・豚舎への出入りの際の洗浄・消毒、専用衣服・靴の設置・使用、肉を含む可能性がある飼料の摂氏70度・30分以上又は摂氏80度・3分間以上の加熱処理）及び野生動物対策（飼料保管場所等への野生動物の排せつ物の混入防止、豚舎周囲の清掃・整理整頓、処理までの間死亡豚に野生動物が近づかないよう適切に保管）が重要です。

また、これらの対策は、本病の他に、国内でも発生が認められている豚コレラの予防対策にも共通します。しっかりと発生予防に努めるとともに、飼養豚に異常が確認された場合は、直ちに獣医師又は最寄の家畜保健衛生所に通報をお願いします。

(防疫班 中村)

令和元年度価格安定対策関連 発動状況について

一般社団法人 宮城県畜産協会

◎肉用子牛生産者補給金制度 補給金単価

(単位：円)

区 分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
第1四半期（4～6月）	－	－	33,200	－	－

◎肉用牛肥育経営安定交付金（牛マルキン）交付金単価

(単位：円)

販 売 月	肉専用種（宮城県）	交雑種（全国）	乳用種（全国）
4月確定値 （概算払）	－ （－）	－ （－）	42,722.1 (38,722.1)
5月確定値 （概算払）	－ （－）	－ （－）	30,806.1 (26,806.1)
6月確定値	－	－	31,029.3
7月（概算払）	（－）	（－）	(31,702.1)

◎肉豚経営安定交付金（豚マルキン）交付金単価

第1四半期（4月～6月）（確定） 交付金なし

地方競馬全国協会からのご案内

「地方競馬の馬主になりたい！」という方は地方競馬全国協会までご連絡下さい。

地方競馬の馬主登録制度についてご案内いたします。

なお、地方競馬の馬主情報については、地方競馬サイト (<http://www.keiba.go.jp/>) でもご覧になれます。

(担当：審査部登録課 電話03-3583-2142)

〈畜試便り〉

宮城県養豚研究会 令和元年度第1回研究集会について

宮城県畜産試験場

令和元年7月26日、宮城県養豚研究会（事務局：宮城県畜産試験場）主催による令和元年度第1回研究集会がグランド平成（大崎市古川）にて開催されました。本研究会は、養豚に関する研究の促進並びに技術の普及を図り、養豚の振興に寄与することを目的として活動し、毎年2回の研究集会を開催しています。

今回の研究集会には、生産者や関連団体から65名の参加があり、盛大に開催されました。研究集会テーマとして、「豚肉の肉質について考える」を取り上げ、肉質向上につながる飼養管理や育種改良技術について、講師2名からご講演いただきました。肉質について勉強した後は、県内銘柄豚2種と海外産豚肉の試食を行い、それぞれの違いを自らの舌で感じていただきました。

初めに、鈴木啓一氏（東北大学大学院）に「おいしい豚肉生産のためのワンポイントアドバイス」と題してご講演いただきました。豚肉は筋肉の部位や品種によっておいしさが異なり、筋肉を構成する筋繊維型の違いが、肉の保水性や肉色に影響を与えている可能性があるという説明がありました。また、おいしい豚肉生産のためには、生産者が実際に豚肉を食べ、自農場の豚肉の特性を考えながら生産に取り組むべきであると述べられました。

次に、木全 誠氏（株式会社シムコ）から「豚肉の肉質改善への取り組みと課題」と題してご講演いただきました。近年、多産系の海外種豚を導入する農家が増加しているが、海外種豚は飼料要求率を重視して改良されているため、国内産豚肉の肉質悪化が懸念されると説明がありました。高品質な豚肉生産のために、今後は雌系の海外種豚に適した国産デュロックを改良していく必要があると述べられました。

最後に、デュロック純粋肉豚「しもふりレッド」、三元交雑種（LWD）「宮城野豚」、アメリカ産豚肉の3種の試食会を実施しました。豚肉は冷しゃぶで提供しました。試食後に実施したアンケート調査によると、3種の中でもしもふりレッドの評価が最も高く、特に柔らかさ、ジューシーさについて、好ましいとの回答が多く寄せられました。

また、平成30年度をもって、平成16年から宮城県養豚研究会会長を務められた鈴木啓一氏（東北大学大学院）が退任されました。令和元年度からは、新たに須田義人氏（宮城大学）が会長として就任されます。

なお、令和元年度第2回研究集会は、令和2年3月の開催を予定しています。

（種豚家きん部 岡 希）



令和2年度 宮城県農業大学校入校生を募集 (一般入校試験前期)

本校は、農業の近代化と経済社会の発展に対応できる、高度な知識・技術を身につけ優れた農業経営者と農村地域の指導者を育成することをねらいとして昭和52年4月に設立された農業大学校です。

平成20年7月には専修学校の機能を付加し、平成21年4月に校名を「宮城県農業大学校」に変更しました。下記により、令和2年度入学生の入校試験を行いますので、多数の出願をお待ちしております。

記

- ◇募集人員 (推薦入校試験分を含む)
畜産学部15名、水田経営学部15名、
園芸学部15名、アグリビジネス学部10名
- ◇応募資格 高等学校卒業者 (令和2年3月卒業見込みの者を含む) 又はこれと同等以上の学力があると認められ、本県農業の振興に貢献する意欲がある者
- ◇募集期間 令和元年11月7日(木)
～令和元年11月22日(金)(当日消印有効)
- ◇試験日時 令和元年12月6日(金) 午前8時45分～
- ◇合格発表日 令和元年12月13日(金) 午前10時
- ◇試験場所 宮城県農業大学校名取教場
- ◇試験科目 ①筆記試験 国語総合 (60分)
数学Ⅰ (60分)
小論文 (60分 800字)
②面接試験 個人面接 (15分程度)
- ◇専修学校のメリット
 - ①卒業生に「専門士 (農業専門課程)」の称号が付与されます。
 - ②卒業生は、4年制大学への3年次編入学試験の受験が可能となります。
- ◇奨学金制度
 - ①本大学校を卒業後、宮城県内での就農を予定されている方は、公益社団法人みやぎ農業振興公社奨学金の申請ができます。また、本大学校の養成課程は、国の事業である農業次世代人材投資事業 (準備型) の対象になります。
 - ②(独)日本学生支援機構の奨学金が利用できます。

※詳しくは、宮城県農業大学校教務部学生班・教務班 (電話022-383-8138) までお問い合わせください。

〈農業大学校生の抱負〉

次世代に向けた養豚経営

宮城県農業大学校畜産学部

2年 佐々木 研



私は将来、養豚経営をしたいと考えています。しかしながら問題になるのは、養豚経営には付き物と言われる汚水や糞の処理、悪臭対策です。豚1頭当りの1日の排泄物の量は、糞尿合わせて繁殖豚で10kg、肥育豚

で6kg程度です。従来の養豚経営では、汚水処理や堆肥化施設を自社で建設し処理するため、多額の資金が必要となります。また、堆肥化する時には発酵臭が出るため近隣から苦情が出る場合があり、その対策にも多くの費用がかかります。

しかし、この問題を解決する方法が、都市部にあると考えます。それは、排泄物をすべて洗浄し希釈して、公共の下水道に放流し、下水処理施設により処理を行う方法です。近年は、少子高齢化が原因で人口の減少が進んでいます。ヒト用として整備された都市部の汚水処理施設が持つ処理能力に、人口が減った分の余裕ができれば、これを豚の汚水処理に利用できると考えます。ヒトの場合、1日の排泄物の量は1kg程度と言われているので、人口が6人減少すれば肥育豚1頭分の処理が可能になります。これが実現できれば汚水処理や堆肥化施設が不要になり、施設を建設する費用を抑えることができます。

養豚経営をするにはもう一つ大きな問題があります。それは、豚舎を建てる土地です。通常であれば、分娩舎や子豚舎、肥育舎など多くの豚舎と土地が必要となります。この問題を解決するため都市部にある空きビルを利用するのはどうでしょうか。最上階から繁殖舎、分娩舎、子豚舎、肥育舎として、最後は地下でトラックに乘せ出荷します。豚や人間の動線が決まっているので外部に由来する病気などにもかかりにくいと考えます。また、ビルにはウインドレス豚舎の機能があります。外に臭気ももれないようコントロールすることができ、近隣への悪臭も軽減できます。さらには空調を管理できるので、暑熱対策など、飼養環境に配慮した飼育が可能です。もちろん、汚水は下水道を通じて処理します。

都市近郊では通常、豚を間近に見ることができないので、近くの小中学校などを対象にふれあい体験や給餌体験などの施設としての利用も可能です。養豚や食への関心を高めることで宮城県全体の農業の活性化に繋がると考えます。

これが私の想像する次世代養豚経営の姿です。もしかしたら将来、私は仙台の中心で養豚経営を行っているかもしれません。何か変なことを言っていると思われるかもしれませんが、既成概念にとらわれず養豚の可能性を追求し、自ら養豚経営を行うこと。この目標を糧に、今まさに勉学に励んでいるところです。

〈New face〉

公益社団法人みやぎ農業振興公社
畜産農村整備部白石牧場
佐久間雄司



はじめまして、今年度からみやぎ農業振興公社畜産・農村整備部白石牧場に配属されました佐久間雄司と申します。出身は角田市で高校卒業

後は他県の肥育牧場に勤めていました。そこで肥育に関する知識や技術を学び、また家畜管理以外では食肉に関する流通、消費などの生産農家から食卓に並ぶまでの多岐にわたる業務に従事してきました。今後は繁殖業務に携わりたいと思い、みやぎ農業振興公社に入社、白石牧場配属を希望しました。休日には趣味である車のお手入れや二輪車で遠方にツーリングに行ったり、季節ごとの催しに参加したりと久しぶりの宮城県を堪能しています。これから、もっと活動範囲を広くしていき宮城県の新しい魅力を発見していきたいと思っています。

白石牧場に勤め始めて半年ほどになりますが、今までの肥育業務と違って繁殖業務は分野が違う事もあり、日々新しい事の連続で右往左往しながら毎日の業務を遂行しています。中でも分娩の時ははらはらしながら見守り、無事に生まれた時は安堵の気持ちでした。初めて新しい命の誕生に立ち会った時は感極まる想いでした。この時の気持ちを忘れずに一頭一頭大事に飼育していき、より資質の高い子牛を生産していきたいと思っています。

まだまだできない業務もあり、まだまだ覚えることもたくさんありますが、先輩方に指導を仰ぎ一日でも早く一人前の戦力となれるよう、また公社職員として地域社会の発展、宮城県の畜産の振興に貢献できるよう精進して参りたいと思います。よろしくお願いします。

公益社団法人みやぎ農業振興公社
畜産農村整備部白石牧場坪沼農場
鈴木 若菜



はじめまして。今年度4月より畜産・農村整備部白石牧場坪沼農場に配属になりました鈴木若菜と申します。

出身は宮城県仙台市で平成26年3月に宮城県農業大学校畜産学部を卒業し、その後、荒浜などで農業を経験してきました。

高校時代はスキー部に所属し、アルペンスキーの回転、大回転をしていました。氷点下10度以下のオニコウベスキー場での練習はつくづく感じることもありましたが、最後の高総体では東北大会も経験し、3年間続けてきたという達成感がありました。その時にコーチをしてくださっていた先生のご自宅が和牛繁殖と稲作の兼業をされており、私は合宿でご自宅に泊めていただいた時に、和牛の飼育管理や農業のお手伝いをし、新しいコメの栽培、そして販売方法を教えていただく中で、畜産だけではなく農業全般のお仕事に興味を持つようになりました。

荒浜ではトマトの溶液栽培から出荷、値付け、直売所での販売を担当し仕事を続けていく中で、他県の農業法人に伺い栽培方法や作業を見学したり、講座を聞きに行くこともありました。ほかにも畑作や稲作をする中でトラクターの運転をすることもあり、農業はおもに年配の方々が作業をされており重労働なので少しでも身体への負担が軽くなるようにと考えながら仕事をしていました。農家の跡継ぎ問題を耳にすると、若い人たちにも農業に興味を持ってほしいと常々考えてはいましたが、なかなかそのような機会を持つことがなく歯がゆい思いをしてきました。

私が配属された坪沼農場では宮城大学の農場管理をしています。学生の方々がより良い研究ができるように若い力をお借りしながら、これからの農業のお手伝いが出来ればと思います。まだまだ至らぬ点が多々ありますが、未来の農業のために精一杯努めてまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

〈New face〉

公益社団法人みやぎ農業振興公社
畜産農村整備部白石牧場坪沼農場

白旗 乃愛



はじめまして。平成31年4月よりみやぎ農業振興公社畜産・農村整備部白石牧場坪沼農場に配属となりました、白旗乃愛と申します。出身は宮

城県仙台市で、今年の3月に宮城県農業大学校の畜産学部を卒業しました。

私は、小さい頃から動物が好きで、その影響もあり高校は農業高校に進学しました。高校で初めて牛舎に入り牛と接していく日々の中で、将来は牛と関わる職に就きたいと考えるようになりました。そこで、更に専門的な知識を得られる農業大学校へ進学をしました。

大学では、主に乳牛についての学習をしてきました。1年生の時には県内の酪農家へ1カ月間泊まり込みで実習をさせて頂き、酪農をする大変さや楽しさを身をもって知ることができました。卒業論文では、乳牛にとって一番身近な病気でもある乳房炎の治療方法についての研究を行いました。また、家畜人工授精師や削蹄師、大型特殊免許等の資格取得にも熱心に取り組みました。大学で得た知識や資格を仕事で活かしていきたいと思っています。

私の業務内容としては、家畜の飼養管理、搾乳、草刈りなど場内の環境整備等があります。4月に入社して早いもので5カ月が経ち、作業内容も覚えスムーズにこなせるようになりました。家畜管理は勿論ですが、トラクターを運転したり、先日は初めて人工授精をさせて頂きました。しかし、実際に行ってみると思った以上に難しく途中で交代してもらい、まだまだ実践練習が必要だと実感しました。

仕事にも徐々に慣れてきましたが、気を抜かず社会人としての自覚を持って行動していきます。至らぬ点が多々あると思いますが、日々精進して参りますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

公益社団法人みやぎ農業振興公社
畜産農村整備部岩出山牧場

奥山 智晴



初めまして。平成31年4月より公益社団法人みやぎ農業振興公社畜産・農村整備部岩出山牧場に配属となりました、奥山智晴と申します。宮

城県加美町の出身で、実家は和牛繁殖を経営しています。

私が畜産に興味を持ったのは幼い頃に牛舎で父の仕事を手伝ってきたことや、畜産に従事する人たちと接するうちに農業に親近感を持つようになり、高校は農業高校に進学し、農業全体の知識を深めていったのがきっかけで畜産の知識や技術を学びたいと思い宮城県農業大学校の畜産学部に進学しました。

大学校では、肉牛を専攻し宮城県畜産試験場で牛の飼養管理や家畜人工授精師の取得を行い、卒業論文では実家の草地を改良し収量を増加させるプロジェクトを行いました。

私が現在所属している岩出山牧場では、肥育牛と繁殖牛及び預託牛の家畜管理と草地管理業務を行っており、私は主に家畜管理をしています。

家畜の管理をしていくなかで、ホイルローダーなどの機械を使う事が多くあります。しかし、経験が浅く操作が遅いためスムーズに作業を行うことができないため、これから多くの経験を積んでいきたいと思っています。また、人工授精の資格をもっているものでいずれは人工授精もやってみたいと考えています。そのためには、家畜管理で牛の観察や人工授精を行う先輩方を見て勉強していきたいです。

私はまだまだ戦力になりませんが、一日でも早く職場の先輩方から一つでも多く仕事を任せて頂ける様にこれからの日々を過ごしていきたいです。

これからのご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。